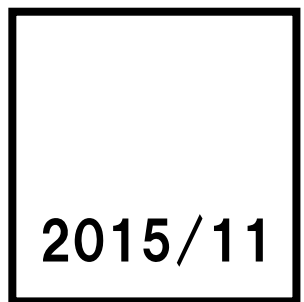




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



最近、「社員のアンケートを社史に掲載したいけど、参考になる社史はありませんか」といった問い合わせをよく受けます。今の社員の声を、後世に記録しておきたいと考えられているのかもしれませんが。そうしたときに、よくご案内している社史を、近刊から何冊かご紹介します。

まず、メカトロニクスの機器などを扱う末松九機株式会社の『100周年記念誌』（2014年刊）。巻末に「s u e t t e r」というコーナーを設け、ツイッターのような吹き出しのイメージで、社員の顔と短いコメントを載せています。「これが私の（入社以来、いちばん思い出深いエピソード）」や「いつまでも心に刻みたい。あの日。あの時。あの気持ち。」など、いくつかの項目に分けて掲載しています。同書には、複数の座談会や、100周年を記念した社員旅行の写真も収録されています。2014年の会社の姿を切り取った一冊であるともいえるでしょうか。

橋梁工事を手掛ける『横河工事50年史』（2013年刊／現在は横河ブリッジと合併）は「横河魂」をテーマに「あなたの『横河魂』とはなんですか？」「あなたにとって横河工事とはなんですか？」などをまとめています。たとえば、横河魂を「自分の頭手足体全部使って、つくり上げ、魂を込めるという意欲」という

コメントが出ていました。

農業・産業用機器の『静岡製機100年史 創意』（2014年刊行）では「創意100人」というコーナーを設け、「お客様や上司から励まし、勇気づけられたひと言を集めました。」というコーナーを設けています。たとえば「責任は俺がとってやるで、やってみればいいじゃん！／販社攻略に悩んでいた際の所長の言葉です。」や「あんたが来れば安心だな。／慣れない営業応援先でお客様から信頼を得られた瞬間。修理に自信がついた。」のように、そのときの状況も添えられています。

教科書等を出版する『東京書籍100年のあゆみ』（2010年刊）の巻末には「「未来」について現役の全役員・社員に聞きました。」として、
(裏面につづく)

社員のコメント掲載法

(表面から続く)

「日本や世界の教育は、どのようになってほしいと思いますか？」などのインタビュが、一人ひとりで記されています。

ワインの輸入事業などを営むモトツクスの100年史『1st Vintage』(2015年刊)は、社員全員を対象としたユニークなアンケートが充実しています。設問を例示すると「職業病だと思ふこと」「お酒の上での失敗談(今後の教訓)」「お薦めのワインとおつまみ」「お薦めしない食べ合わせ」「死ぬ前に飲みたいお酒」や「次の世代に伝えたいお酒の良さと、熱い思いを一言!」など盛りだくさんです。ちなみに「お薦めのワインとおつまみ」からひとつをあげると「柿ピーとチリのシャルドネ」とあります。試してみたいかがですか。

社員のコメントを掲載する際のレイアウトも多種多様です。囲み記事や一覧になっているものが多いようですが、集合写真とあわせて、ひとことが添え書きされている田町ビルの『50年史 田町とともに』(2014年刊)のような社史もあります。

アンケート回答者の、顔写真、名前、部署、年齢、入社何年目など、どれを載せるのかは、社史によってまちまちです。

全社員の声を掲載するアンケートだけでなく、結果からピックアップしたものや、統計にした社史も数多く見られます。

防振ゴムなどを扱うヤクモの『環境と共に50年』(2013年刊)では、東日本大震災直後の体験などを「3・11アンケート」としてまとめています。

『京王百貨店50年史』(2014年刊)では従業員を対象に「もし、あなたが1フロアの企画を任されたなら、どんなフロアや売り場を作りたいですか?」の募集から抜粋した提案や「OBから現役社員へのメッセージ」「京王百貨店を漢字一字で表現すると?」「これまでで最も印象的だった催事・イベントは?」などの設問がありました。

外資系コンサルティング会社、アクセシユアの50年史『KISEKI』(2013年刊)では、現在の社員に20年前とまったく同じアンケートをして比較しています。また、社員から仕事に関する川柳を募集したコーナーもありました。

アンケートを通して社員の声に触れると、その会社の考え方や社風などが伝わってくるような気がします。

(科学情報課 高田)

1997年に刊行された製鐵運輸(現在は日鉄住金物流)の『30年目のルネサンス』には、「奥さまアンケート(うちのパパは…)」というコーナーがあり、「Q. 製鐵運輸を色で表現するならどんな色?」(1位:黄色、2位:灰色、3位:青)、「Q. 製鐵運輸にマスコットキャラクターを選ぶとしたら、何がいいと思いますか?」(1位:ゾウ、2位:クマ、3位:トラ)などが出ています。「製鐵運輸に関連した思い出の中で、一番心に残っているのは何ですか?」には、「長男が生まれた時、社内報に載って、おめでとうと書かれたこと」など、ほほえましいコメントも寄せられていました。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話:044-233-4537 FAX:044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>